＜公共交通とまちづくり＞

課題演習について

１　課題演習のねらい

(1)「課題演習」は、受講者の皆さんが小グループ（演習班）に分かれ、自主的に意見交換や討議を行うことを通じて、公共交通とまちづくりに関する現状の問題点・課題を明らかにし、その解決策・対応策について検討するものです。

また、討議の結果については、クラス全員の前で発表し、質疑や意見交換を行います。

(2) 課題演習を実施するねらいは、次のとおりです。

① 意見交換や討議を行い、結論をまとめる作業を通じて、現状分析と問題点・課題の抽出、意見の調整、グループの中での役割分担、プレゼンテーションなど、日常の職務遂行においても重要となる能力の向上を図ること

② 自治体が共通して抱えている問題点・課題、各自の所属団体の状況等について、積極的に情報交換や意見交換を行い、問題解決のための手がかりをつかむとともに、受講者相互の交流を深めること

(3) 課題演習では、他の団体の情報を収集することも大切ですが、さらに進んで、担当する職務の問題点・課題や地域の行政課題を解決しようという前向きな姿勢を歓迎します。

皆さんも、課題演習をより有意義なものとするため、事前に、各自の所属団体の現状や問題点・課題を把握するとともに、より積極的に、先進的な自治体の取組み等に関する事例収集や調査研究も行った上で、研修に臨むようにしてください。

２　課題演習資料の作成

(1)「課題演習資料」を作成してください。資料の作成にあたっては、地域公共交通の「現状・取組み状況」をもとに、「困っていること（問題点・課題）」を把握し、その原因を分析したうえで、改善策について、自由に提言をまとめてみてください。

(2)「課題演習資料」は、９月２９日（木）までに提出してください。また、討議に役立つと思われる資料等を、各自で積極的に研修に持参してください。

(3) この資料は、各班に分かれて情報交換や討議を行う際の基礎資料となりますので、課題演習の最初の時間に班員に、自身の資料の説明をしてください。なお、資料の作成にあたっては、他の班員が理解しやすいよう、具体的な記述に努めてください。

３　演習班の編成

１班５人前後の演習班を編成し、入所日にお知らせします。

４　演習テーマ

この研修科目の「課題演習」においては、次の４つのテーマを設定しています。

・利用促進のための情報発信の方法の提案

・地域の足を守るための施策提案

・地域公共交通はビジネスかインフラか（行政は何を支えるのか）

・コロナ禍と地域公共交通の維持・継続

※どのテーマとするかは、演習班内の討議で決定してください。